

助成金情報

他にも多くの助成金があります。詳しくは、メイトム宗像のホームページ⇒その他リンク一覧をご覧ください。窓口での相談も受け付けています。

メイトム宗像

助成金 まちづくり、学術・文化・芸術・スポーツ分野

●平成28年度文化遺産を活かした地域活性化事業

対象 我が国の「たから」である地域が多様で豊かな文化遺産を活用した、伝統芸能・伝統行事の公開・後継者養成、古典に親しむ活動など、各地域の実情に応じた特色ある総合的な取り組み

申込締切 11月30日(月) ※当日消印有効

助成金額 1件あたりの上限額なし

問合せ 文化庁
TEL: 03-5253-4111

助成金 学術・文化・芸術・スポーツ分野

●平成28年度 青少年スポーツ振興に関する助成金(前期)

対象 青少年スポーツの振興に関する事業を積極的に行い、奨励し、または自ら行い、かつその活動を3年以上継続して実施している団体

申込締切 12月31日(木) ※当日消印有効

助成金額 1件あたりの上限額 100万円

問合せ 公益財団法人 ヨネックススポーツ振興財団事務局
TEL: 03-3839-7195 FAX: 03-3839-7196

助成金 環境保全分野

●2016年度 環境市民活動助成

対象 「NPO基盤強化助成」「活動助成」「緑化植花助成」「清掃助成」地域の環境問題を地域の市民が主体的に解決するための活動

申込締切 12月10日(木) ※当日消印有効

助成金額 1件あたりの上限額 20～200万円

問合せ 一般財団法人 セブーンイレブン記念財団
TEL: 03-6238-3872 FAX: 03-3261-2513

助成金 保健・医療・福祉

●第12回 精神障害者自立支援活動賞(リリー賞)

対象 精神障害者の社会参加や自立に向けて一生懸命に取り組む個人やグループ

申込締切 12月31日(木) ※当日消印有効

助成金額 当事者部門100万円 支援者部門50万円

問合せ NPO法人 地域精神保健福祉機構(コンボ)・リリー賞募集事務局
TEL: 047-320-3870 FAX: 047-320-3871

むなかたのまちづくりを考える

まちづくり交流会

宗像市内で活動する4団体の事例紹介と交流会

11/26(木)

18:00～20:30 場所: 赤馬館



- ① 団体事例紹介
 - まちづくり 鐘崎マルシェ 石橋全さん 『青空市場で買い物弱者支援』
 - 地域安全 パトラン宗像 高堂大輔さん 『浅田真央ちゃんとパトラン』
 - 子ども支援 メイクハッピー&ピース 仲西浩一さん 『子どもがイキイキ、学習サポートの秘密』
 - 健康づくり すこやかライフサポーター 中村洋子さん 『お母さんが輝くきっかけづくり』

- ② 交流会
 - 軽食を食べながらつながりづくり。

対象/NPO、市民活動に取り組む個人・団体、社会貢献に興味がある社会人・大学生・主婦
募集人数/20名(先着順) 参加費/1000円(ドリンク食事付き)
申込方法/電話または、メールにてお申し込みください(11/25まで)

問合せ メイトム宗像 市民活動・NPOボランティアセンター
TEL: 0940-36-0311



おすすめの1冊

私の推薦本



えほん障害者権利条約

著者:ふじい かつり
イラスト:里 圭
出版社:汐文社
大型本 32ページ 本体1,500円+税 2015年4月発行

推薦文

2016年4月から施行される新しい法律「障害者差別解消法」では、障害を理由に差別をすることはもちろん、「合理的な配慮をしない」ことも同様に禁止しています。誰もが差別はいけないことだと、わかっているのに…差別はなくならない。障害があることで我慢をしたりあきらめたりしている人がいるのも事実です。これからは、何が差別なのか?また、合理的配慮と特別扱いの違いは何か?良かれと思ってしたことが相手に喜ばれない残念な結果にならないために、私たち一人ひとりが考え行動する時代です。本書は、国内法成立の背景でもある国連の障害者権利条約をわかりやすく、親しみやすく解説しています。まずは関心を持っていただけると嬉しく思います。

本の紹介者

しょうこ 遠山 昌子 さん

一般社団法人 生き方のデザイン研究所
代表理事・コーディネーター

インクルーシブデザイン思考で、障害のある人と「ともに」気づきと学びのプロセスを大切にしながら、人と人の出会いの場をつくっています。



むなかた NPO ボランティア情報紙

ふらぐ

No. 10

2015年11月発行

テーマ「集う」

人が集うを考えると

「ふらぐ」は、NPO・ボランティア・市民活動の実践者を対象とした情報紙として、活動に役立つ情報をお伝えします。今回は「集う」がテーマ。人が集うとは、何が人を集めるのかを考えてみましょう。

1000人のお気に入り探し

女性がわくわくする、人と人をつなぐイベントとして定着してきた「てくてく」。宗像ユリックスで年に4回お母さんたちの手作りマルシェを開催する「Blue Clover てくてく企画室」の平山知恵美さんに活動のこだわりと魅力を聞きました。



てくてく。

楽しさをステップに

雑貨との出会いは12年くらい前。子育ての時間を工夫して、布製品(バッグ・服・小物)などを作っていました。それを幼稚園のお母さん友だちと一緒に販売。当時は手作り雑貨の販売はほとんどなかったのですが、作品を作るのも人と話をするのも大好きなので始めました。どんどん人の輪が大きくなり、もっと宗像で活動している人を知ってみたい。宗像のまちのよさを形にしたいと活動を広げました。

宗像のおしゃれな店舗を紹介するマップ「お出かけ帳」も手がけました。宗像にはいいお店や人がいっぱいなのにもっていない!と一軒一軒飛び込みで掲載をお願いしました。今ではそれを片手に、市外から宗像めぐりに訪れる人も多いそうです。いい人といいものをつなげたい!いっぱいコラボしたい!宗像をもっとアピールしたいんです。

「てくてく。」も来年3月の開催で12回目になります。てく



宗像めぐりに役立つお出かけ帳



似合うね〜

笑顔いっぱいの平山さん

お母さんとランドセルカバー探しに

てく歩きながら自分のお気に入り探しができる場にと「てくてく。」とネーミング。北九州や福岡では大きなイベントがあるのに宗像にはなくて、「てくてく。」をきっかけに宗像のよいところを回ってもらいたいと思いました。

人が人をよんで

取材中にお会いした作家の谷口由美さんは、「初めはお客としての関係でした。趣味で作品を作っている話をしたら、納品をすすめてくれて」と、今ではワークショップで講師も担当します。平山さんは作家さん同士高めあってよいものを作られるよう、いつも応援できることはないか考えています。

「てくてく。」開始時間。イベントホールの入口には500人ほどが並びました。イベントを一緒につくる作家さんは約200人。あったらいいなを形にした作品や心ときめくアクセサリーが並びます。ファンはまず目当ての作家ブースへ。来場者は1,000人を超え、作品を通して、会話と人とのつながりを楽しみます。子どもと一緒に人も時間を慈しむようにここでゆっくり過ごします。

心をなごませる空間には、たくさんの人の温度を感じ、穏やかな時間が流れていました。それに惹かれて毎回多くの人が足を運びます。



てくてく。 Vol. 12

次回は2016年3月10日開催

問合せ Blue Clover TEL: 090-7398-5221 (平山)

皆さんからの市民活動のお知らせや活動の様子などをお寄せください。

情報を募集!! munakata@mcforum.jp 「むなかた市民フォーラム」まで

「ふらぐ」は、むなかた市民フォーラムが宗像市市民サービス協働化提案制度において、宗像市と協働で編集・発行しています。

発行/宗像市市民活動・NPOボランティアセンター
住所/福岡県宗像市久原180 メイトム宗像
電話/0940(36)0311 FAX/0940(37)4101

編集/むなかた市民フォーラム
URL/ <http://kouryuukan.com>
E-mail/meitomu@city.munakata.fukuoka.jp

窓口時間/8:30～17:00
休日/土・日・祝日



それぞれの団体から探る

私たちの集い方

居心地の良い雰囲気づくり

工夫している一番のことは、居心地の良い雰囲気づくりです。会の性格上、和やかで緊張感がないように気を付けています。

大切にしていることは、対象者にあった開催場所、日時設定だと思えます。いくら内容が良くても、そこを外したら来て頂けませんから。

集うことで、利用者同士の交流が生まれ、情報交換ができます。日々困っていることなどを話し合い、解決できた事例も多数あります。



BLUE MOON TEL: 090-1368-9331 (柴田)
Mail: blue-moon@jazz.odn.ne.jp

精神疾患・障がいを持つ人、および家族の支援。毎月、「BLUE MOON CAFE」と題して茶話会を実施。当事者、家族、支援者の交流を通じQOL(Quality of Life)の向上を目指します。

受け入れる空間づくりから

こだわりは、集いたくなる場所と空間をつくること。なんかいいなと受け入れてもらうことがはじめの一歩だと思います。私たちは地域の安全をつくるために活動しています。活動をするにあたって、被害の対象になりやすい女性の意見をよく聞くようにしています。



人が集うとコミュニケーションが活発になるので、多くのアイデアが生まれます。

NPO 法人
改革プロジェクト

TEL: 090-2398-7390 (立花)
Mail: kaikakuprj@gmail.com

子どもや女性、お年寄りが安心して暮らせる地域社会、今までにない防犯スタイルを日本の文化にすることを大切に、パトランを中心に活動しています。

「集う」にも、いろいろあるんだ

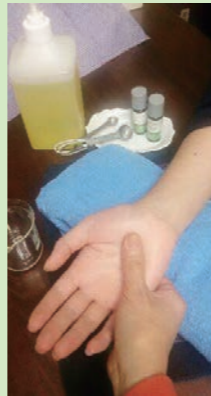
人はなぜ集い、そこから何がかわるのでしょうか。今回は、市内4つの団体の集い方と、集うことで生まれたことを紹介します！

喜びを仲間と分かち合う

季節ごとに、イベントや会食など、皆が集える機会をつくることを心がけて活動しています。

集う楽しさが大切です！自分が好きでやっていることが相手に喜んでもらえてうれしいです。その喜びを仲間と共に分かち合えることは、活動の継続と質の向上につながります。

人が集まることにより、数は力となり、対外的にアピールできる場が増え、活動に広がりが出てきました。



あろばら TEL: 090-4359-6523 (河村)
Mail: kawamuran.h.y.657@ezweb.ne.jp

病院の関連施設等でこだわりのアロマオイルを使ったハンドトリートメントを実施しています。

笑顔の輪を広げよう!!

笑顔の周りには人が集うと思います。「にっこり」「朗らかな」「穏やかな」笑顔。スタッフもいろいろな笑顔をつくりだしています。

笑顔は連鎖し、たくさんの笑顔が生まれます。私たちは、包み込むような笑顔が何より必要なものだと考え活動しています。

子どもも大人も笑顔。これからは笑顔の輪を広げていきたいと思えます。



NPO 法人
むなかた子育てネットワークこねっと

FAX: 0940-36-3741
Mail: konet_munakata@yahoo.co.jp

宗像市内の育児サークルやボランティアが集まり子育て支援のための活動をしています。みんなで楽しく子育てができるようにサポートし、地域の子育て応援団として活動しています。



わいわい!! コンテナプロジェクト 空き地が人が集う場に生まれ変わる

佐賀県佐賀市 「空き」の価値を高めマネジメントする。
空洞化した街に、にぎわいを取り戻すための新たな試み。

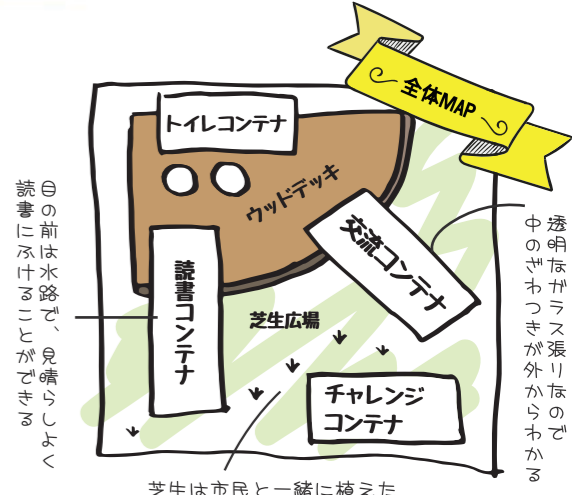


街がダメになる危機感

「わいわいコンテナプロジェクト」がはじまる背景にあったのは、街の人通りが少なくなり、にぎわいがなくなってきたこと。佐賀市の中心街の通行量は、平成21年にはピーク時の16%まで減少した。人通りがなくなるにつれ商店街の空き店舗も増えていった。かつてのにぎわいを失った街をみて、伊豆さんは「何かをしないと街がダメになる」と感じたという。「中心街の活力を取り戻すにはどうすればよいか」佐賀市街なか再生会議が中心となり解決方法を模索した。そして、議論の末にたどり着いた答えが「空き地」と「コンテナ」だった。

空き地がもつ価値を高める

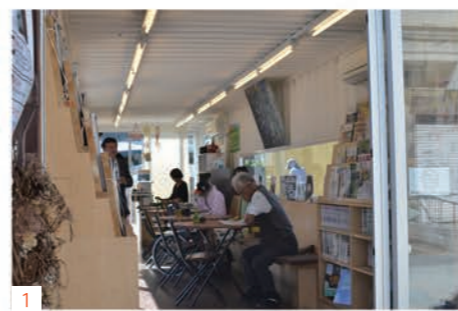
平成23年6月に社会実験として「わいわいコンテナプロジェクト」がスタート。予想を超える盛況ぶりを受けて、平成25年からは街の回遊性を高めるため、新たな場所でも「わいわいコンテナプロジェクト」が始まった。運営は、市からの委託を受けて、「まちづくり機構ユマニテさが」が担う。コンテナは空き地内に「交流コンテナ」「読書コンテナ」「読書コンテナ」「トイコンテナ」と4つ用意されている。交流コンテナは、子どもからお年寄りまで気軽に利用でき、ワークショップや講座などが日々開催されている。チャレンジコンテナは、将来的に店舗を持ちたい人に向けて



目の前は水路で、見晴らしよく読書にふけることができる

透明なガラス張りなので中の様子が見えやすい

芝生は市民と一緒に植えた



貸し出しており、利用費は売上の5%のみ。読書コンテナは、厳選した雑誌・絵本・マンガなどが設置されており、窓の外の水路を眺めながらゆっくりとした時間を楽しむことができる。
コンテナから生まれたざわざわが伝播する
コンテナの周辺には、おしゃれなカフェやラーメン店、ワーキングスペース等々、多く新しい店舗ができ、確実ににぎわいが生まれてきている。
「コンテナプロジェクトを通じて、この場所なら何かできそうだなという雰囲気は街全体にできています。コンテナから発生したざわざわ感が伝播してきました」と伊豆さん。10月末からはシャッター店舗を1ヶ月間のみ貸し出すチャレンジショッププロジェクト第2弾がスタート。第1弾では実際に店舗がオープンした実績もあり、第2弾も大いに注目されている。

INTERVIEW

伊豆哲也さん Izu Tetsuya

特定非営利活動法人
まちづくり機構ユマニテさが タウンマネージャー



1) 読書コンテナ。テーブルも設置してあり気ままに読書を楽しめる。2) 交流コンテナ内にある掲示板。ざっくり予定が詰まっている。3) チャレンジコンテナの外観。2013年のグッドデザイン賞受賞の看板が右端に見える。わいわいコンテナ2所在地/佐賀市呉服元町2番地内